4 0 7 , 6 9 2 人 2 0 1 , 5 2 8 人 2 0 6 , 1 6 4 人 人口 (前月より372人増) 168,049世帯 (前月より310世帯増) 17年6月1日現在)



2005年

編集・企画部広報広聴課広報係 〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23 市役所の代表電話042・722・3111 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日) ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

地震に対する10の備え

○家具類の転倒・落下防止をしておこう 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置 けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。

○けがの防止対策をしておこう

避難に備えてスリッパやスニーカーなどを準備しておく。 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく 食器棚や窓ガラスなどには、ガラス飛散防止措置をしておく。

○家屋や塀の強度を確認しておこう 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。 ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。

○消火の備えをしておこう 小さな揺れの時には、火の始末をする習慣をつけておく。 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。

○火災発生の防止対策をしておこう 普段使用しない電気器具は、差込プラグをコンセントから抜いておく。 電気やガスに起因する火災発生防止のための防災機器を設置しておく。

○非常用品を備えておこう

非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。

○家族で話し合っておこう

地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。 家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。 普段の付き合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。

○防災環境を把握しておこう 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。 自分の住む地域の防災環境を確認しておく。

○過去の地震の教訓を学んでおこう

防災機関が実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災の知識を身につけておく。

□識・技術を身につけておこう 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救 護、通報連絡、避難要綱などを身につけておく。

訓練会場・内容 (予定) していただく会場も増えました。 木曽山崎スポー ツ広場周辺会場 旧緑ヶ丘小、本町田小、旧本 西小、本町田中、旧忠生第五

策訓練、高層ビルからの救出訓練 等総合震災訓練 南町田駅周辺会場 埋火葬許可と遺体引渡し訓練 ŧ 児童の引き取

避難誘導訓練、

帰宅困難者対 検視検案訓 その 鶴間 います。

具に転倒防止金具等を取り付け などの世帯を対象に、自宅の家 65歳以上の1人暮らしやご夫婦 齢者の安全と財産を守るため、 **(2724·2141)** 市では地震・災害における高 費用の一部を補助して 詳しくは高齢者福祉は へお問

9月 18

1日に東京都と合同で大規模な防 空前の被害をもたらした関東大 関東大震災のあった9月 年。この災害を忘れな

田市、東京都及び各防災機関がは「連携」をテーマに、市民、 災訓練を行います。今回の訓練で 町 合訓練 急患者等輸送訓練ほか大規模な総 んによる消火、 児童の引き取り訓練、医療 ヘリコプター による救

ζ

避難訓練、

総合震災訓練

協議会(会長

秋山哲男首都大学

福祉のまちづくり

推進

で構成されています。

に、視覚・聴覚障がい者、

ていきます。

高層マンションからの救出訓

の訓練、 延焼遮断幕放水訓練 ●教育センター会場 避難所運営訓練 応急給食訓練、 ボランティア活動訓練、 都県境対策 応急物資輸 トイレ対策

訓練、

所で行われていた訓練を市内5会

町田駅周辺 JR 町田駅周辺会場

町

田

駅、

東

情報が伝わり、市との連絡・相談

誰にでも分かりやすく

手続きができる

視覚・聴覚障

3

門

池

公

丸井、ルミネ、

109外にて

そのため、

例年メイン会場1か

場、7か所に拡大し、参加関係機

き、お互いに連携した訓練を実施 れぞれの責務と役割分担に基づ

東京都及び各防災機関がそ

関も大幅に増加、災害に関するパ

駅前混乱防止訓練、

展示や特殊車輌等を見て体験

炊き出し訓練、 物資輸送訓練、 鶴見川クリーンセンター 三輪地区会場 総合訓

> り方を諮問していました。 これに 高齢者等の情報面の格差改善のあ

対し、5月16日に市長に改善提案

ます) しています。

場までおいで下さい。 ご一緒に積極的にお近くの訓練会 当日はお子さんや地域の方々と 避難所運営訓練 応急

応急救護の訓練を 防災課☎724 合訓練

2 1

0

小山ヶ丘小、 マンション数棟に

情報のバリアフリー・ ニバーサルデザイン

に向けた 改善提案報告書

ができました

がい

参加者を募集します さくら号で行く公共施設巡り

対象 市内在住の成人

日時 7月7日(木)午前9時20分~午後 4 時

小雨実施。中止の場合は電話で連絡します。 市民ホール横観光バス暫定発着所 (集合)~鶴見川クリーンセンター~総合体 育館(見学・昼食)~ひなた村~薬師池公園 ~ 市民ホール横観光バス暫定発着所 (解散) 33人(申し込み順)

費用 780円(昼食代)

7月4日午前8時30分から電話 申し込み で市民相談室(2724・2102)へ。

申し込みは1回の電話で2人までとさせて いただきます。

により販売します。 日時 夏の風物詩を楽しみにご来園下 や山野草等を、 内で栽培されたほおずき(鉢 7 . 月 9 日 生産者の協力 (土)、 10

午前8時~午後4時30分

Pビル先21番乗り場から本町田経 スで「薬師ヶ丘」下車すぐ 由野津田車庫行きか鶴川駅行きバ 会場 雨天実施 小田急線町田駅北口PO 薬師池公園内

で配布 (点字版・テープ版もあり 成して、全庁的な取り組みを進め 遇・応対の実践・研修の3つの: 福祉総務課窓724・213 今後は具体的な計画 (案)を作 724·1187 ムページでもご覧いただけま 2の実践・研修の3つの柱相手の立場を理解した接 高齢者のパソコン等の 報告書は福祉総務課 ₹793.7611

職 社 会 経 験 者 町 田 帀 格 募集職種 募集人員 受 日 程 申 込 受 付:7月17日(日) 1969、昭和44)年4月2日から1975、昭和50)年 4 月 1 日までに生まれた方で、学校卒業後民間企業等における職務経験が 5 年 3人程度 1次試験日:8月7日(日) 般 事 務 以上ある方 採用予定: 2005年10月1日 町 \blacksquare 職 集 矢 療 職 帀 員 募集職種 募集人員 受 験 格 日 程 等 申 込 受 付: 7月19日(火)~7月22日(金) 理学療法士 1970(昭和45)年4月2日以後に生まれた方で、理学療法士の資格を有する方 1人 1次試験日:8月7日(日) 臨床検査技師 1人 1975(昭和50)年4月2日以後に生まれた方で、臨床検査技師の資格を有する方 採用予定: 2005年10月1日 1975(昭和50)年4月2日以後に生まれた方で、診療放射線技師の資格を有する方または2006年春までに取得見込みの方 診療放射線技師 1人 申 込 受 付:8月18日(木)~8月19日(金) 産 師 2人程度 | 1970(昭和45)年 4 月 2 日以後に生まれた方で、助産師の資格を有する方または2006年春までに取得見込みの方 1 次試験日: 9月18日(日) | 1970(昭和45)年 4 月 2 日以後に生まれた方で、看護師の資格取得後、看護師としての実務経験のある方 看護師(イ) 20人程度 採用予定:2006年4月1日以降 看 護 師(ロ)│ 10人程度│1970(昭和45)年 4 月 2 日以後に生まれた方で、看護師の資格を有する方または2006年春までに取得見込みの方 全ての職種とも次の各号の一に該当する方は受験できません。1地方公務員法第16条の欠格条項に該当する方2活字印刷文による出題に対応できない方

*全職種とも募集要項と申込書は市役所、各市民センターで配布します。また町田市ホームページからもダウンロードできます。お問い合わせは、職員課(※722・3111内線2241)へ。

2006年春採用の医療職を除く職員の募集については、次号(7月11日号)でお知らせする予定です。